



埼玉県の経済情勢報告

令和5年7月26日

財務省関東財務局


お問い合わせ先

関東財務局総務部経済調査課

電話番号 048-600-1161

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、持ち直している」









| 項目 | 前回（5年4月判断） | 今回（5年7月判断） | 前回比較 |
|------|-------------------------------------|------------|---|
| 総括判断 | 物価上昇や供給面での制約の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している | 持ち直している |  |

（注）5年7月判断は、前回4月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、物価上昇の影響がみられるものの、持ち直している。生産活動は、一進一退の状況にある。雇用情勢は、持ち直しつつある。

【各項目の判断】

| 項目 | 前回（5年4月判断） | 今回（5年7月判断） | 前回比較 |
|--------|-----------------------------|-----------------------------|---|
| 個人消費 | 物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している | 物価上昇の影響がみられるものの、持ち直している |  |
| 生産活動 | 弱い動きとなっている | 一進一退の状況にある |  |
| 雇用情勢 | 持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている | 持ち直しつつある |  |
| 設備投資 | 4年度は増加見込みとなっている（全規模・全産業ベース） | 5年度は増加見込みとなっている（全規模・全産業ベース） |  |
| 企業収益 | 4年度は減益見込みとなっている（全規模ベース） | 5年度は減益見込みとなっている（全規模ベース） |  |
| 企業の景況感 | 「下降」超となっている（全規模・全産業ベース） | 「下降」超となっている（全規模・全産業ベース） |  |
| 住宅建設 | 前年を上回っている | 前年を下回っている |  |
| 公共事業 | 前年を上回っている | 前年を下回っている |  |

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「物価上昇の影響がみられるものの、持ち直している」

スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額、ドラッグストア販売額などは前年を上回っている。百貨店販売額、家電販売額は前年を下回っている。乗用車の新車登録届出台数は、普通車、小型車、軽乗用車いずれも前年を上回っている。旅行や飲食サービスなどは、持ち直している。

このように個人消費は、持ち直している。

(主なヒアリング結果)

- 化粧品やトラベル用品の販売は好調であるものの、来店客数が減少していることに加え、商品値上げに伴う購入点数減少により客単価が落ちており厳しい状況となっている。(百貨店)
- 商品価格が上昇するなか、客数の増加のために積極的なプロモーションを行った結果、客数及び客単価の改善により売上は伸長している。(スーパー、大企業)
- マスクを外す機会が増加したため、化粧品やスキンケア商品の販売が好調であるほか、物価高に伴い、酒類をまとめ買いする顧客が増えており、売上は増加している。(ドラッグストア、中小企業)
- 完成車メーカーからの車両供給数が増加しているため、新車販売台数は増加している。足下の受注は微減となっているものの、大量の受注残があることから、メーカーから供給されれば売れる状況が続いている。(自動車販売、中堅企業)
- コロナ禍以降、2~3名の少人数の利用がほとんどだったところ、コロナ5類移行後は10~20名程度の予約も入るようになったほか、価格改定に伴い客単価も上昇しており、業況は改善している。(飲食サービス、大企業)
- 観光客が多い状態が続くなか、各種イベントの開催により観光地は賑わっているほか、アジア、米国を中心にインバウンド客も更に増加している。(業界団体)

■ 生産活動 「一進一退の状況にある」

生産は、一部に供給面での制約の影響がみられるなか、業種別にみると、食料品、汎用機械が減少しているものの、化学、輸送機械などが増加しており、全体としては、一進一退の状況にある。

- 巣ごもり需要の落ちつきや消費者の節約志向の強まりにより、内食需要が低下しているため苦戦している。(食料品、中堅企業)
- 外出機会の増加や、マスク着用が個人の判断となったことから、メイク商品の販売が増加しており、生産量も大きく伸びている。(化学、中堅企業)
- 生産は改善傾向にあるものの、半導体不足の影響は継続しており、生産状況は本調子には戻っていない。(輸送機械、大企業)

■ 雇用情勢 「持ち直しつつある」

有効求人倍率は上昇し、新規求人数は増加するなど、雇用情勢は、持ち直しつつある。

- コロナ5類移行により生産は回復しているものの、深刻な人手不足により稼働していない設備があるため、採用活動を強化している。(製造業、中堅企業)
- 他業界の採用が動き出したことから新卒の採用に苦戦しているほか、新規出店を進めているなか、パート職員に不足感がある。(小売業、大企業)

■ 設備投資 「5年度は増加見込みとなっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」5年4-6月期

○ 5年度の設備投資計画は、製造業、非製造業とも増加見込みとなっている。

■ 企業収益 「5年度は減益見込みとなっている」 (全規模) 「法人企業景気予測調査」5年4-6月期

○ 5年度の経常利益は、製造業、非製造業とも減益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超となっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」5年4-6月期

○ 先行きについては、7~9月期に「上昇」超に転じる見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を下回っている」

○ 新設住宅着工戸数をみると、貸家は前年を上回っているものの、持家、分譲住宅は前年を下回っており、全体として前年を下回っている。

- 資源価格高騰等による販売価格の高止まりもあって、注文住宅の受注件数は前年を下回っており、低い水準が続いている。新築物件への一定の需要はあるものの、販売価格を見て、購入を諦める顧客が増えている。(不動産、中小企業)
- 戸建分譲住宅は、業界全体として販売低迷により在庫が増加したことを受け、値引きを行ったことから利益率が落ちている。(住宅建設、中小企業)

■ 公共事業 「前年を下回っている」

○ 前払金保証請負金額をみると、国、都県は前年を上回っているものの、独立行政法人等、市区町村が前年を下回っており、全体として前年を下回っている。

埼玉県の経済情勢報告

資料編

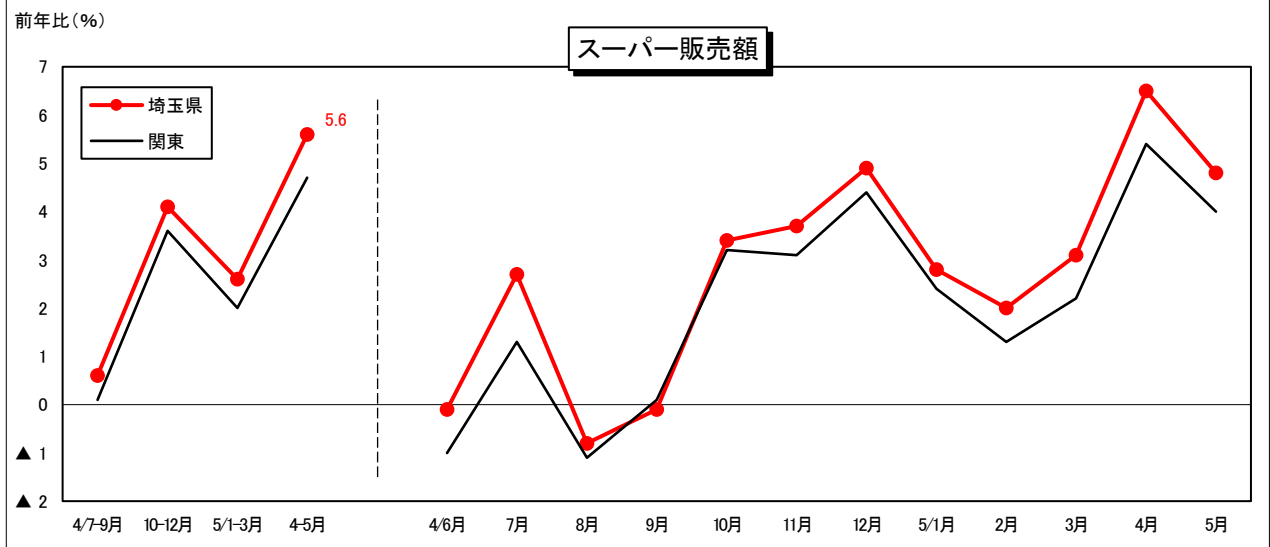
※掲載した経済指標等については速報値を含む。

※資料中の「管内」とは関東財務局が管轄する1都9県を示す。

1. 個人消費

物価上昇の影響がみられるものの、持ち直している

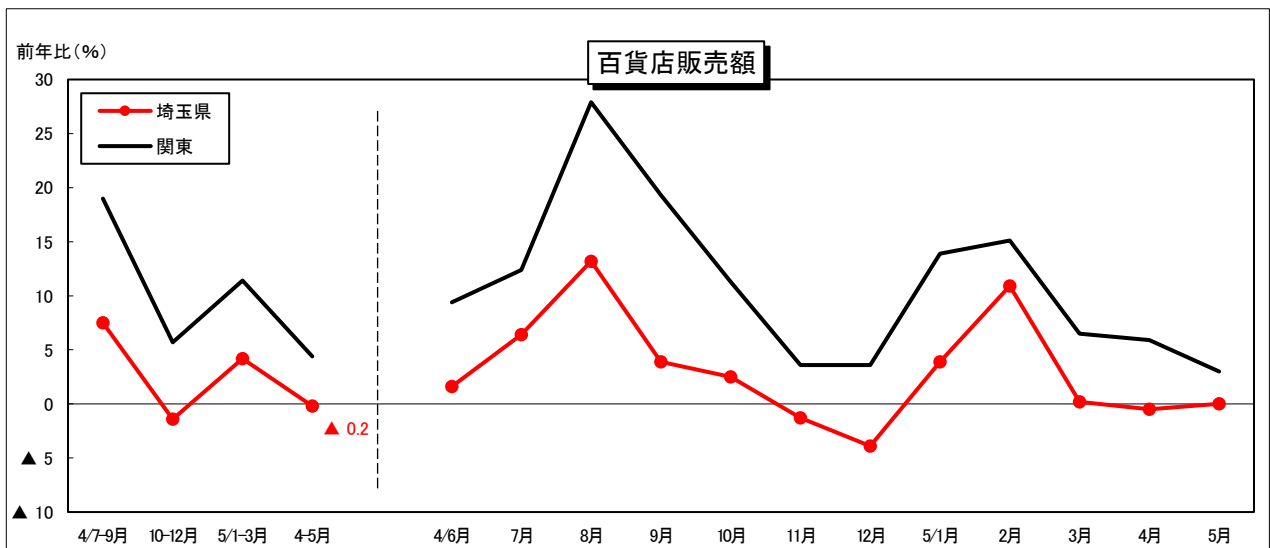
[グラフ1]



(注) 全店ベース。関東には、静岡県を含む。

「商業動態統計」(経済産業省)を加工

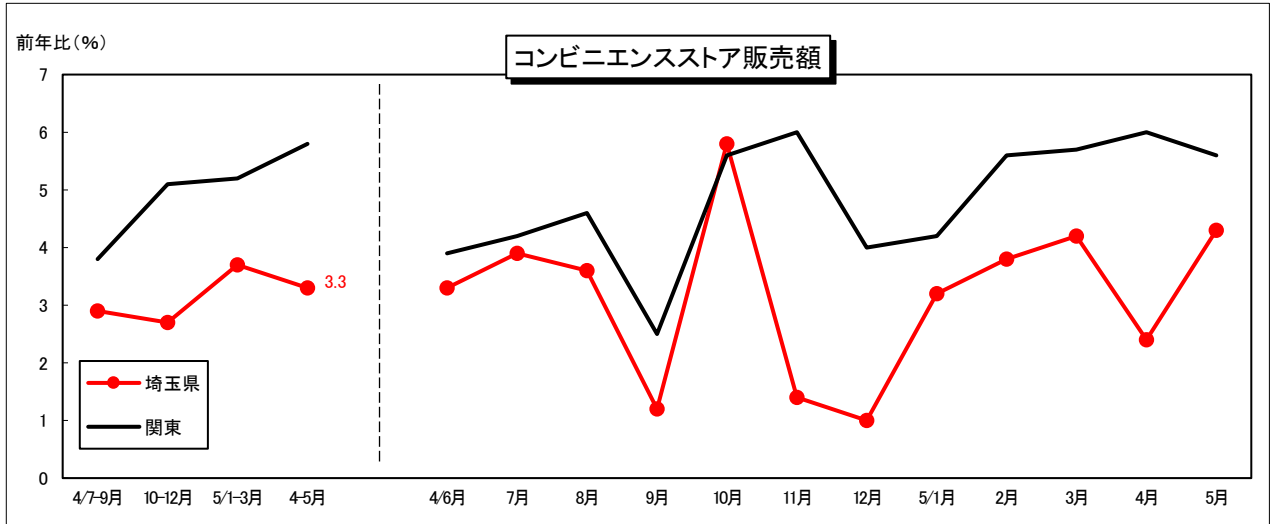
[グラフ2]



(注) 全店ベース。関東には、静岡県を含む。

「商業動態統計」(経済産業省)を加工

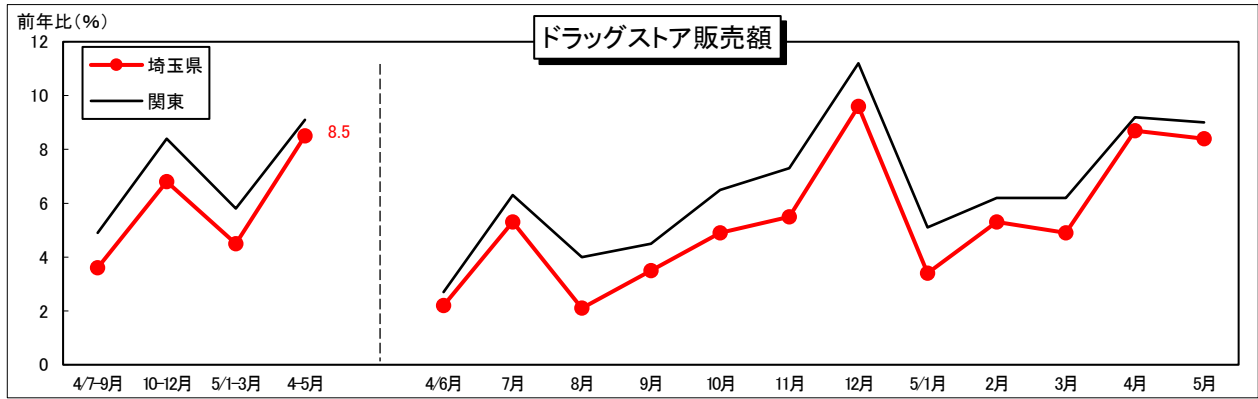
[グラフ3]



(注) 全店ベース。関東には、静岡県を含む。

「商業動態統計」(経済産業省)を加工

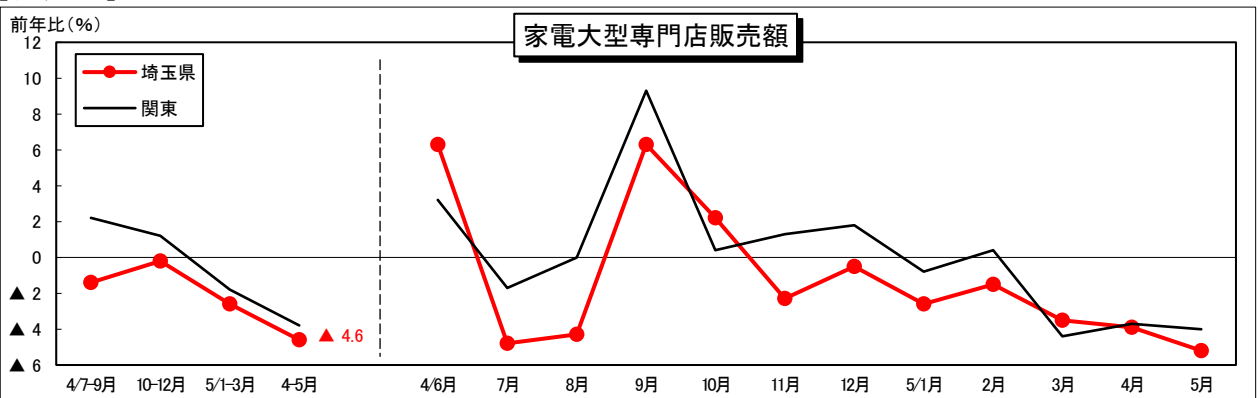
[グラフ4]



(注) 全店ベース。関東には、静岡県を含む。

「商業動態統計」(経済産業省)を加工

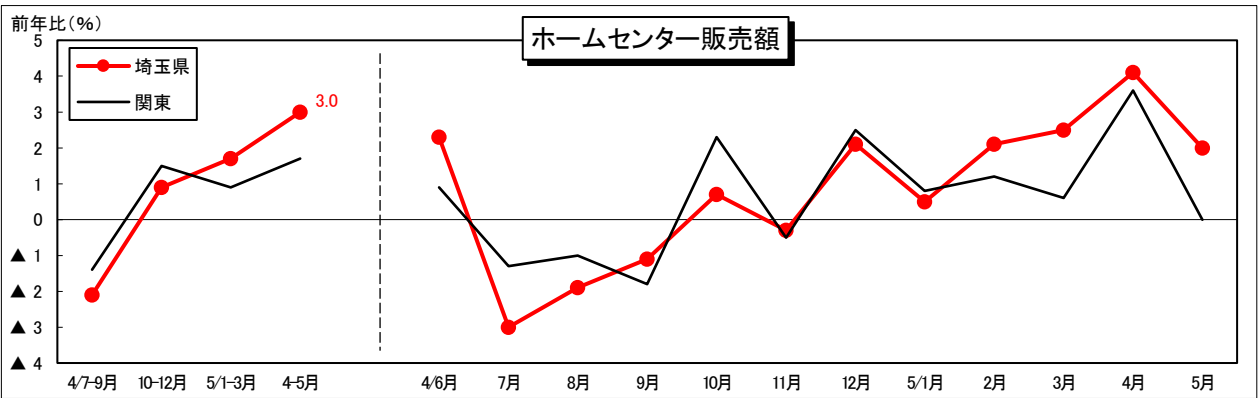
[グラフ5]



(注) 全店ベース。関東には、静岡県を含む。

「商業動態統計」(経済産業省)を加工

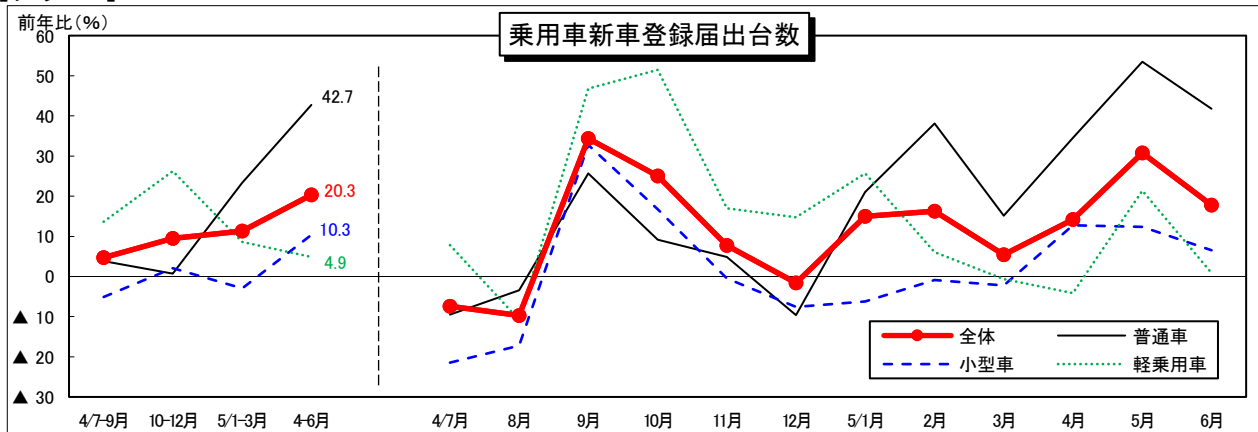
[グラフ6]



(注) 全店ベース。関東には、静岡県を含む。

「商業動態統計」(経済産業省)を加工

[グラフ7]

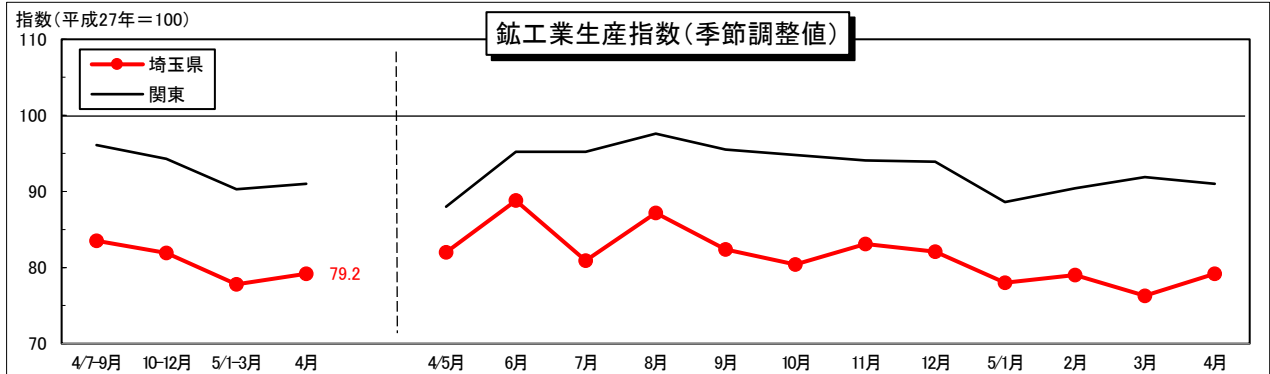


「新車販売台数」(日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会)を加工

2. 生産活動

一進一退の状況にある

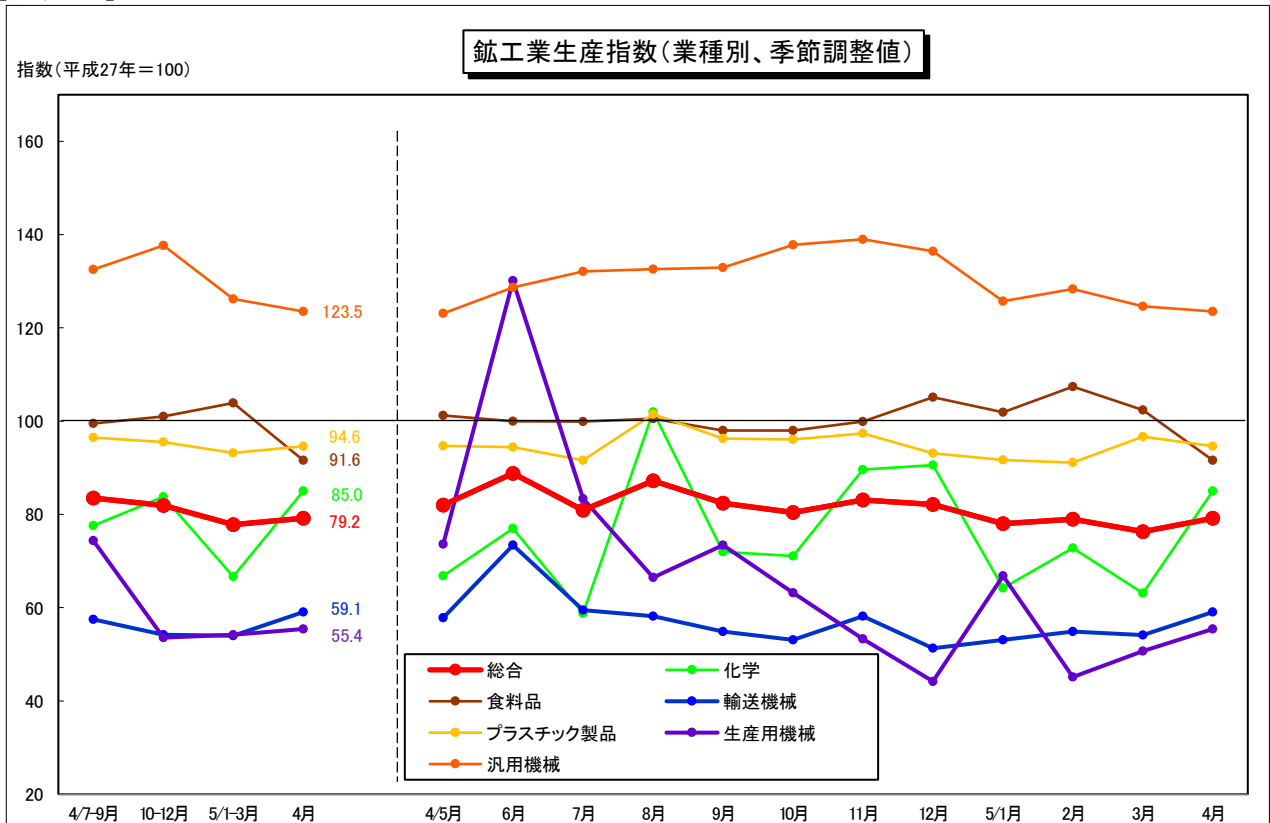
[グラフ8]



(注) 関東には、静岡県を含む。

「鉱工業指数」(埼玉県、関東経済産業局)を加工

[グラフ9]

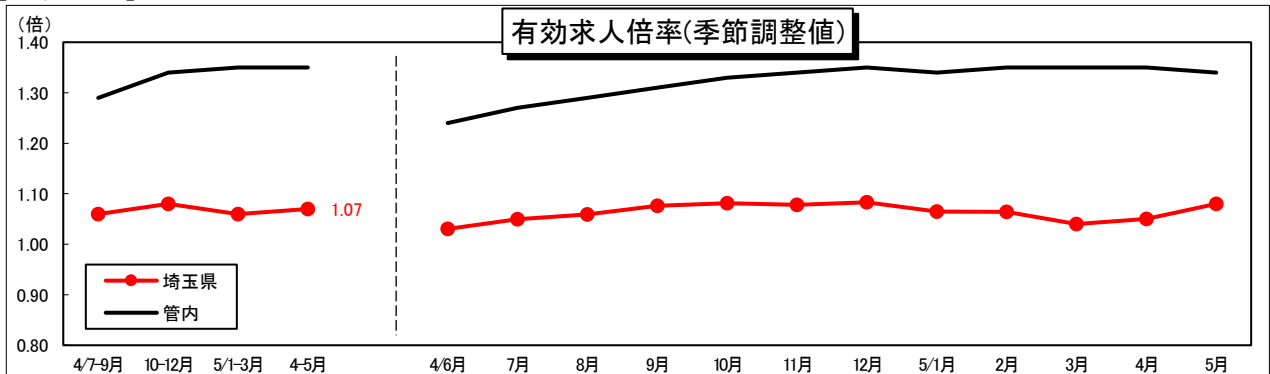


「鉱工業指数」(埼玉県)を加工

3. 雇用情勢

持ち直しつつある

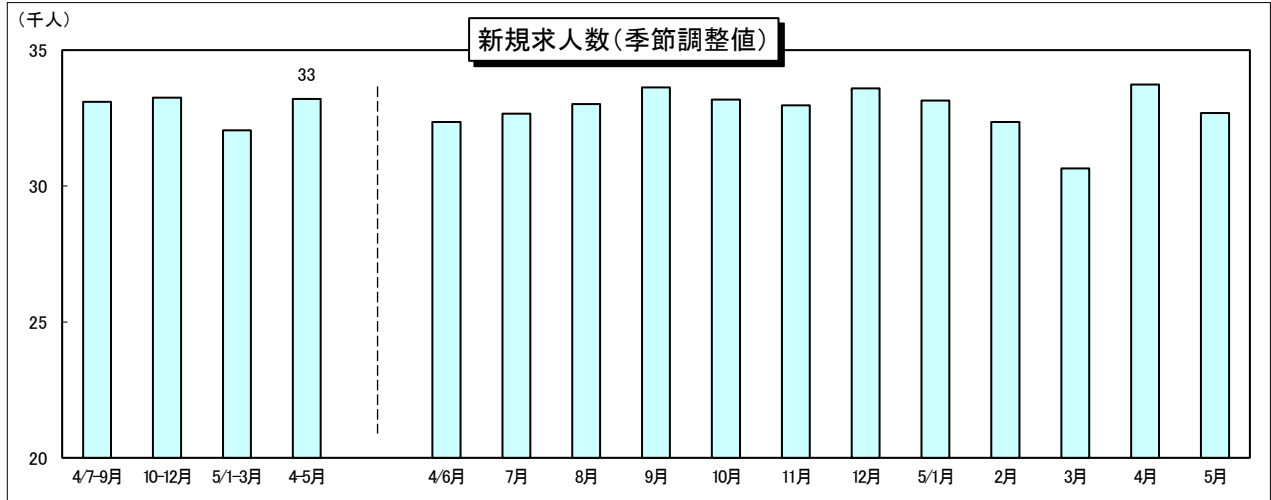
[グラフ10]



(注) パートを含む。

「一般職業紹介状況」(厚生労働省)を加工

[グラフ11]



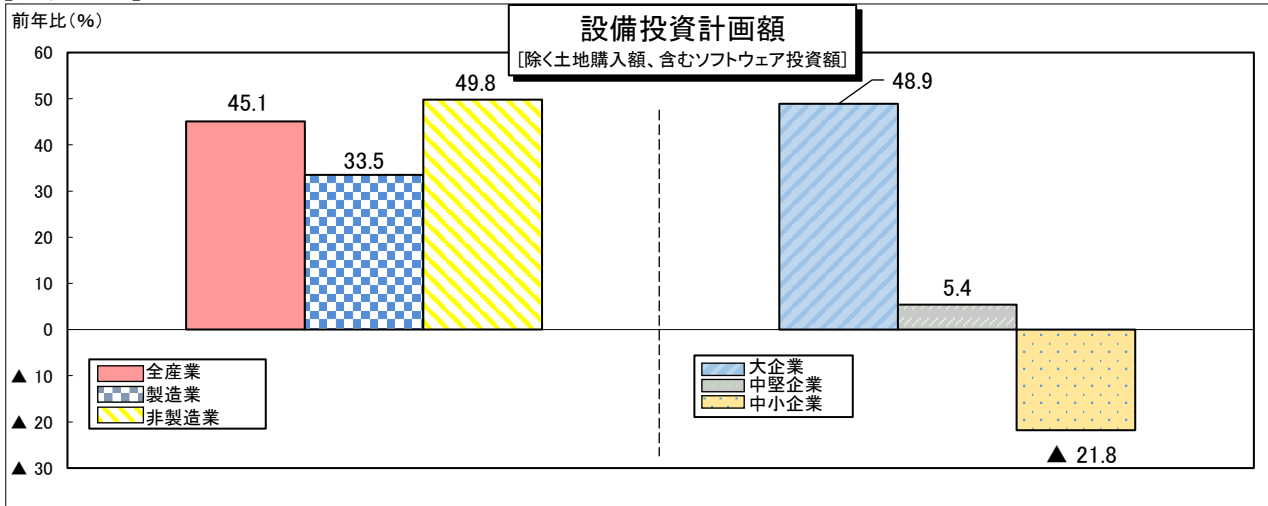
(注) パートを含む。四半期の値は月当たりの平均。

「一般職業紹介状況」(厚生労働省)を加工

4. 設備投資

5年度は増加見込みとなっている(全規模・全産業ベース)

[グラフ12]

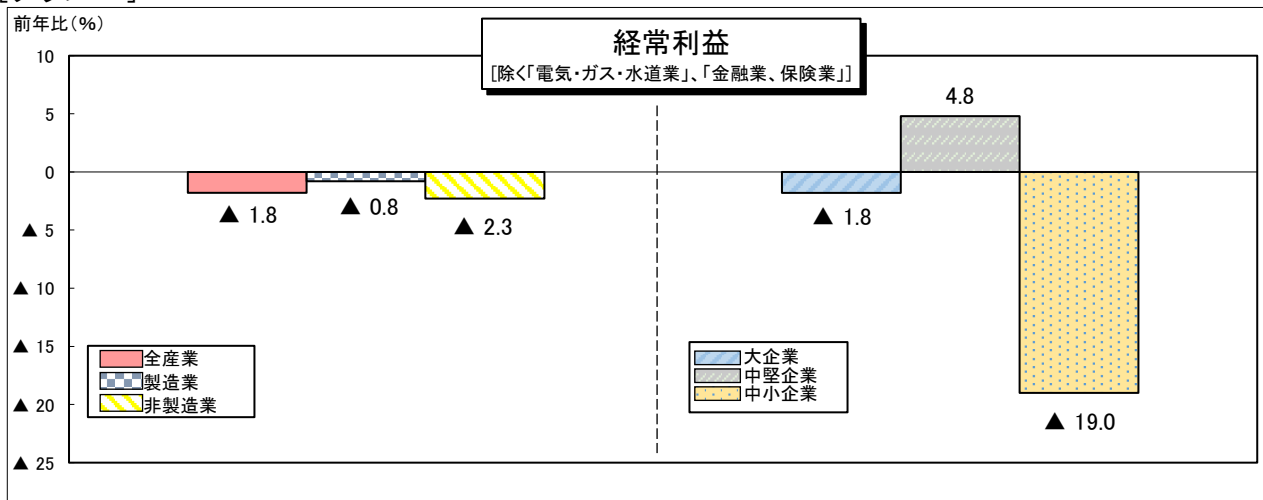


「法人企業景気予測調査(令和5年4~6月期調査)」(関東財務局)

5. 企業収益

5年度は減益見込みとなっている(全規模ベース)

[グラフ13]



「法人企業景気予測調査(令和5年4~6月期調査)」(関東財務局)

